

2024年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
330221036	教育方法論 Educational Methodology	小野憲一			2	必修	2前期

**科目の概要**

本授業は、DPの③に当たる「自立した社会人として常に自己研鑽に取り組み、自らの可能性を高めて社会に貢献する」をベースとして教師の資質能力の育成を目指し、教育方法論とその技術に関わる基本的概念・内容を理解させる。さらに、身近な自己教育・相互教育の実践的な事例を通して「教育方法」の論理を考察することを課題とし、社会的背景の変化や急速な技術の発展も踏まえ、これからの社会を担う子どもたちに求められる資質・能力を育成するために必要な、教育の方法、教育の技術、ICT（情報通信技術）の効果的な活用や情報社会の中で学び続ける力の育成方法に関する基礎的な知識・技能を身につける。

学修内容	到達目標
① 子どもに育むべき資質・能力を理解し、教育方法を工夫する意義について理解する。 ② 学修指導案の基本的な要素と作成の流れや実際に設計できることについて理解する。 ③ 学習者を支援する基本的な指導技術を身につけ、活用し理解する。 ④ ICTを活用する意義や理論、学修指導や校務に位置づけて説明できることについて理解する。 ⑤ 情報活用能力を育成する意義及び育成方法を身につける。	① 子どもに育むべき資質・能力を理解し、教育方法を工夫する意義について説明できる。 ② 学修指導案の基本的な要素と作成の流れを理解し、実際に設計できる。 ③ 学習者を支援する基本的な指導技術を身につけ、活用することができる。 ④ ICTを活用する意義や理論を理解し、学修指導や校務に位置づけて説明できる。 ⑤ 情報活用能力を育成する意義及び育成方法を身につけることができる。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素	学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例
---------------------	---------------------------

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素	学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例
前に踏み出す力	主体性 自分自身の学校生活の経験、実生活などの様々な関心と結びつけながら、学修活動に取り組むことができる。
	働きかけ力
	実行力 グループ討論時における発表や模擬授業時の授業者として積極的かつ率先して取り組むことができる。
考え抜く力	課題発見力 与えられた課題内容だけでなく、新たに自分自身で課題を見いだすことができる。
	計画力
	創造力 学修課題等に対して、自分自身で柔軟で多様な考え方をもち取り進むことができる。
チームで働く力	発信力 グループ討論や全体発表において、自分自身の考えや意見を整理して表現することができる。
	傾聴力 グループ討論や全体発表において、自分自身の考えや意見と他者の考えや意見を比較しながら、最後まで聴き取ることができる。
	柔軟性
	状況把握力
	規律性 授業内での遅刻や私語等、授業に支障をきたす行動を自分自身で自粛して、円滑な学修活動を心がけることができる。さらにグループ内での自分自身の役割を遵守することができる。
	ストレスコントロール力

**テキスト及び参考文献**

テキスト：『教育の方法と技術 Ver.2 IDとICTでつくる主体的・対話的で深い学び』 稲垣忠 編著 北大路書房  
 参考資料：必要な資料等は適宜授業中に配布する。

**他科目との関連、資格との関連**

本科目「教育方法論」は、教職科目として配置され、「教職入門(1年)」「教育原理(1年)」において基礎的理解を深め、その後履修する「教育課程論(3年)」「総合的な学習の時間の指導法(3年)」において専門的理解を深め、「教育実習(4年)」において実践的理解へと発展させていく。  
 関連する資格：小学校一種

学修上の助言	受講生とのルール
・毎時間の授業におけるグループ討論や全体発表会等では、積極的な意見交換や交流を心がけると良い。 ・毎時間の学修内容は、しっかりと予習・復習において関連する情報収集を積極的に行い、理解を深めておくことと良い。	・毎時間の授業中で配布する学修資料は大切に保管し、忘れた際には出席者にコピーをもらう、または担当教員から受け取る。 ・授業時の開始時間には必ず携帯電話の電源を切り、授業に集中する姿勢と大勢の切り替えをして授業に参加する。ただし担当教員が必要に応じてスマートフォンで検索機能を活用する時を除く。

【評価方法】

評価対象	評価方法		評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント		
学修成果	学期末試験	筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	70	①	✓	・評価にあたって重視する観点は、以下の3点である。 ①講義内で扱った用語・理論・概念が理解できているか。 ②講義内に扱った理論を学校現場・教育の実践に当てはめて考えることができているか。 ③授業の内容について、自分自身考えの意見を持つことができているか。	
				②	✓		
				③	✓		
				④			
				⑤			
	平常評価	小テスト		10	①	✓	・授業の途中で、小テストを実施する。 ・評価にあたって重視する観点は、実施時点までの講義で扱った用語・理論・概念が理解できているか。
					②		
					③	✓	
					④		
					⑤		
		レポート		10	①	✓	・評価にあたって重視する観点は、毎回の授業について理解ができていたか、さらに意欲的に講義に取り組むことができているか。 講義内で用いた用語・概念の確認や、考えを問いたり、ワークの感想や疑問を記す小レポートとして実施する。
					②	✓	
					③	✓	
					④		
					⑤		
成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）		0	①				
			②				
			③				
			④				
			⑤				
学修行動	社会人基礎力（学修態度）		10	①	✓	（課題発見力）子どもの発達支援について自分なりに疑問を見つけることができる。 （創造力）発問において自分自身の考えや意見を持つことができる。 （発信力）必要な時に、自分私人の考えや意見を述べたり、発表したりできる。 （傾聴力）あいづちやうなづきなど話を聞く姿勢ができている。 （規律性）遅刻や私語等、授業に支障をきたす行動を自分自身で自粛して、円滑な学修活動を心がけることができる。	
				②	✓		
				③	✓		
				④	✓		
				⑤			
総合評価割合			100				

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
到達レベルS 教育方法の理論及び指導技術の基礎を理解し、基礎的な学習指導理論を踏まえて、正しく学習指導案を作成し、情報機器を活用し、主体的・対話的で深い学びとなるよう工夫された授業の展開ができ、その意義や方法について構造的に説明することができている。 到達レベルA 教育方法の理論及び指導技術の基礎をもとに、基礎的な学習指導理論を踏まえて、正しく学習指導案を作成し、情報機器を活用し、主体的・対話的で深い学びとなるよう工夫された授業の展開ができ、その意義や方法について諸部分を構造的に説明することができている。	到達レベルB ・教育方法の理論及び指導技術のおよその理解をもとに、基礎的な学習指導理論を踏まえて、正しく学習指導案を作成し、情報機器を活用し、主体的・対話的で深い学びとなるよう工夫された授業の展開ができ、その意義や方法について活用できている。 到達レベルC 教育方法の理論及び指導技術の一応の理解をもとに、基礎的な学習指導理論を踏まえて、正しく学習指導案を作成し、情報機器を活用し、主体的・対話的で深い学びとなるよう工夫された授業の展開ができ、その意義や方法について使用することができている。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	・教育の成立する場 教育は閉じられた学校・教室において、既成の知識・技能、あるいは社会・生活習慣の伝達、再生産のためのものとして機能しているだけではないことを考える。社会的背景の変化や急速な技術の発展も踏まえ、個別最適な学びと協働的な学びの実現や、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善の必要性など現代の教育の課題、教師の果たすべき役割について考える。	・ガイダンス ・講義 ・質疑応答 ・Classroomを活用した課題提示とフィードバック	授業で学んだ内容の要点が理解でき、自分自身で問題意識を表現することができる。さらに学んだ内容をベースとして関連あるテーマに対してディスカッションができる。	(予習) シラバスに目を通し、本授業全体の概要を理解する。 (復習) 授業で学修した事柄や文言等を整理し、振り返りシートのワークシートに取り組む。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性
2	・教育・学習の方法原理 教室という場所について、情報化と授業の再構築という観点で考える。授業技術のうち発問の重要性を学ぶ。	・講義 ・質疑応答 ・Classroomを活用した課題提示とフィードバック	情報技術における発問の重要性とはどのようなものかを理解できる。	(予習) 指定の資料を熟読し、内容で分かったことや疑問に感じた個所をピックアップし調べておく。 (復習) 授業で学修した事柄や文言等を整理し、振り返りシートのワークシートに取り組む。	180	実行力 課題発見力 発信力 傾聴力
3	・授業の諸要因と授業設計(1) 授業がどのような要素で構成されているかを考える。教師が実際の授業をどのようなことを考えて設計しているかを学ぶ。特に、主体的・対話的な深い学びの実現について考える。	・講義 ・質疑応答 ・Classroomを活用した課題提示とフィードバック	授業がどのような構成要素で成り立っているか、また、教師が実際の授業でどのようなことを考えて設計しているかが理解できる。	(予習) 指定の資料を熟読し、内容で分かったことや疑問に感じた個所をピックアップし調べておく。 (復習) 授業で学修した事柄や文言等を整理し、振り返りシートのワークシートに取り組む。	180	主体性 実行力 創造力 傾聴力
4	・授業の諸要因と授業設計(2) 前時に引き続き、教師が実際の授業をどのようなことを考えて設計しているかを考える。具体的に「[提示][説明][指示][発問]」等の教授行動を学ぶ。	・講義 ・質疑応答 ・Classroomを活用した課題提示とフィードバック	教師の立場となつて具体的な「[提示][説明][指示][発問]」等の教授行動がどのようなものかを理解できる。	(予習) 指定の資料を熟読し、内容で分かったことや疑問に感じた個所をピックアップし調べておく。 (復習) 授業で学修した事柄や文言等を整理し、振り返りシートのワークシートに取り組む。	180	主体性 実行力 創造力 傾聴力
5	・学習評価の基本 学習評価の基本である、学習評価をデザインする・目標・指導・評価の一体化の意義について学ぶ。事例を基に学校長の役割、教育委員会との連携、学校裁量の時間の設定等の学校づくりについて学ぶ。	・講義 ・質疑応答 ・Classroomを活用した課題提示とフィードバック	学習評価の目標・指導などの意味をしっかりと理解し、具体的な事例を参考にしながら学んだ校長、教育委員会などの連携を理解できる。	(予習) 指定の資料を熟読し、内容で分かったことや疑問に感じた個所をピックアップし調べておく。 (復習) 授業で学修した事柄や文言等を整理し、振り返りシートのワークシートに取り組む。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 傾聴力
6	・教育メディアと教材・教具 視覚教育の歴史から教材・教具の意義、役割を考える。校内のネットワークシステムの構築等について学ぶ。	・講義 ・質疑応答 ・Classroomを活用した課題提示とフィードバック	視覚教育における歴史的経緯を理解し、使用された教材や教具はどのように使用し活用されたのかを理解できる。	(予習) 指定の資料を熟読し、内容で分かったことや疑問に感じた個所をピックアップし調べておく。 (復習) 授業で学修した事柄や文言等を整理し、振り返りシートのワークシートに取り組む。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 傾聴力
7	・情報教育の基礎 情報機器を活用した効果的な学習方法について学ぶ。学習者の多様性・学びを引き出す指導技術(児童によるICT活用を含む)を学ぶ。社会的背景の変化や急速な技術の発展も踏まえ、個別最適な学びと協働的な学びの実現や、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善の必要性など、情報通信技術の活用意義と在り方について理解する。	・講義 ・質疑応答 ・Classroomを活用した課題提示とフィードバック	情報機器を使用活用した効果的な学習方法とは如何なるものか、情報通信技術の基礎的な指導技術が理解できている。	(予習) 指定の資料を熟読し、内容で分かったことや疑問に感じた個所をピックアップし調べておく。 (復習) 授業で学修した事柄や文言等を整理し、振り返りシートのワークシートに取り組む。	180	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力
8	・情報教育の課題 子どもたちの情報モラルを含む情報活用能力育成のための指導方法、統合型校務支援システムを含む情報通信技術を効果的に活用した校務の推進について学ぶ。デジタル教材の活用を含めた教育のデジタル化、子供のICT活用、特別の支援を必要とする児童に対する情報通信技術の活用意義と活用当たりの留意点を学ぶ。	・講義 ・質疑応答 ・Classroomを活用した課題提示とフィードバック	情報活用能力育成のための指導方法、統合型校務支援システムを含む情報通信技術を効果的に活用した校務の推進や使用活用する時の留意点について理解できる。	(予習) 指定の資料を熟読し、内容で分かったことや疑問に感じた個所をピックアップし調べておく。 (復習) 授業で学修した事柄や文言等を整理し、振り返りシートのワークシートに取り組む。	180	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	・ICTを活用したマルチメディア教材の特性 ICTの特性を学び、実際の授業での活用方法を考察する。学びが見える評価方法と学習履歴データの活用についての理解を深める。ギガスクール構想、学校の現状について事例を学ぶ。さらに、特別の支援を必要とする児童に対する情報通信技術の活用を実践事例から学ぶ。	・講義 ・質疑応答 ・Classroomを活用した課題提示とフィードバック	ICTの特性を学び、実際の授業での活用方法を考察し、学びが見える評価方法と学習履歴データの活用についての理解できる。また、特別の支援を必要とする児童に対する情報通信技術の活用を実践事例内容を理解できる。	(予習) 指定の資料を熟読し、内容で分かったことや疑問に感じた個所をピックアップし調べておく。 (復習) 授業で学修した事柄や文言等を整理し、振り返りシートのワークシートに取り組む。	180	主体性 実行力 課題発見力 傾聴力
10	・ICTを活用したマルチメディア教材を活用した授業実践事例検討 ICTマルチメディア教材及び情報機器を授業で活用することを通して、子どもたちの興味・関心を高めたり課題を明確につかませたり学習内容を的確にまとめさせたりすることと有効であることを学ぶ。遠隔・オンライン教育の意義や関連するシステムの使用法について授業実践例を通して学ぶ。	・講義 ・質疑応答 ・Classroomを活用した課題提示とフィードバック	ICTマルチメディア教材や情報機器を授業で活用する場合にどのようなことが考えられるか、遠隔・オンライン教育の意義や関連するシステムの使用法について理解できる。	(予習) 指定の資料を熟読し、内容で分かったことや疑問に感じた個所をピックアップし調べておく。 (復習) 授業で学修した事柄や文言等を整理し、振り返りシートのワークシートに取り組む。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 傾聴力
11	・各教科、総合的な学習の時間の授業づくりの課題(1) 「国際理解教育」及び「環境教育」等の総合的な内容を扱う場合の授業設計の課題を学ぶ。ICTの活用できる可能性について理解を深める。	・講義 ・質疑応答 ・Classroomを活用した課題提示とフィードバック	「国際理解教育」及び「環境教育」等の総合的な内容を扱う場合の授業設計の課題を学び、ICTの活用できる可能性について理解できる。	(予習) 指定の資料を熟読し、内容で分かったことや疑問に感じた個所をピックアップし調べておく。 (復習) 授業で学修した事柄や文言等を整理し、振り返りシートのワークシートに取り組む。	180	主体性 実行力 創造力 傾聴力
12	・各教科、総合的な学習の時間の授業づくりの課題(2) 「IT(ティーム・ティーチング11)」「少人数教育」等の総合的な学習の時間の授業づくりにかかわる課題について学習する。さらに、道徳、特別活動等も連携をはかり、横断的に育成する情報活用能力(情報モラルを含む)及びICTの活用可能性について学ぶ。	・講義 ・質疑応答 ・Classroomを活用した課題提示とフィードバック	各教科・「総合的な学習の時間」「道徳教育」「特別活動」などの授業におけるICTの活用可能性はどのようなことが考えられるか理解できる。	(予習) 指定の資料を熟読し、内容で分かったことや疑問に感じた個所をピックアップし調べておく。 (復習) 授業で学修した事柄や文言等を整理し、振り返りシートのワークシートに取り組む。	180	主体性 実行力 創造力 傾聴力
13	・授業研究による教師の成長 授業の設定・実施・評価を踏まえて、質の高い授業づくりを継続的に行うことを通じて、教師の児童理解、教材解釈、児童対応等の授業実践能力が向上していくことを学ぶ。授業実践能力の育成にICT利活用が有効であることを学ぶ。	・講義 ・質疑応答 ・Classroomを活用した課題提示とフィードバック	授業研究に授業実践力の一つの方法として、ICTを活用することによって、質の高い授業の提供、教師としての児童理解、教材解釈、児童対応などの実践力の向上につながると理解できる。	(予習) 指定の資料を熟読し、内容で分かったことや疑問に感じた個所をピックアップし調べておく。 (復習) 授業で学修した事柄や文言等を整理し、振り返りシートのワークシートに取り組む。	180	主体性 実行力 創造力 傾聴力
14	・マイクロティーチングを踏まえた指導案作成 学んできたことのまとめとして、学習指導案を作成し、マイクロティーチングを通して改善していくことを学ぶ。ICTを積極的に活用することを考える。	・講義 ・質疑応答 ・Classroomを活用した課題提示とフィードバック	マイクロティーチングを踏まえた指導案作成にICTを積極的に活用することによって、多様な方法で授業を改善し、進めることを理解できる。	(予習) 指定の資料を熟読し、内容で分かったことや疑問に感じた個所をピックアップし調べておく。 (復習) 授業で学修した事柄や文言等を整理し、振り返りシートのワークシートに取り組む。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 傾聴力
15	・学習指導案作成と教師の意思決定 本授業全体を通して学んだことの集大成として、ICTを活用した主体的・対話的な深い学びを実現する学習指導案を作成し、それらを模擬授業できるように準備する。実際の授業は、指導案通りには進行しない。毎回の授業の反省に基づき、以降の授業設計・実施・再構成が繰り返されることを学び、自身の授業づくりに生かす。さらに、児童の理解、関心等にに応じて、教師には瞬時の意思決定が必要なことを学ぶ。	・講義 ・質疑応答 ・Classroomを活用した課題提示とフィードバック	本授業全体を通して学んだことの集大成として、ICTを活用した主体的・対話的な深い学びを実現する学習指導案を作成することができる。	(予習) 指定の資料を熟読し、内容で分かったことや疑問に感じた個所をピックアップし調べておく。 (復習) 授業で学修した事柄や文言等を整理し、振り返りシートのワークシートに取り組む。	180	主体性 実行力 課題発見力 創造力 傾聴力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 情況把握力 規律性 ストレスコントロール力